



指揮  
トーマス・ザンデルリンク  
Thomas Sanderling

ショスタコーヴィチ

# 森の歌

Shostakovich  
"Song of the Forests"

オルフ

# カルミナ・ブラーナ

Orff  
"Carmina Burana"



ソプラノ  
"カルミナ・ブラーナ"  
中江早希  
Saki Nakae



テノール  
"森の歌" "カルミナ・ブラーナ"  
大澤一彰  
Kazuaki Osawa



バリトン  
"カルミナ・ブラーナ"  
萩原潤  
Jun Hagiwara



バス  
"森の歌"  
岸本力  
Chikara Kishimoto

管弦楽  
新交響楽団

The New Symphony Orchestra, Tokyo

合唱 "森の歌"

東京オラトリオ研究会、東京ライエンコア、小平コーラス・アカデミー

合唱 "カルミナ・ブラーナ"

新星合唱団、立川コーラス・アカデミー、東京オラトリオ研究会

児童合唱

オーケストラとうたう杜の歌・こども合唱団  
三鷹中央学園三鷹市立第三小学校合唱団  
おおさわ学園三鷹市立大沢台小学校合唱団

合唱指揮  
郡司博  
渡部智也

## 2017.3.20 (月・祝)

12:30 ロビー開場 13:30 開演

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋西口)

全席指定 S4000円 A3000円

13:10より岡田利英によるプレトーク

※学生席・車椅子席(2000円)はおんがくの共同作業場のみでお取り扱いいたします。

※コンサートの収益金をベネフィット寄付金といたします。

■主催: 認定NPO法人おんがくの共同作業場

■チケットお取扱い:

おんがくの共同作業場 (TEL 042-522-3943)

東京芸術劇場ボックスオフィス (TEL 03-5391-3010)

→ホームページからのお申し込みはこちら (<http://gmaweb.net/npo/>)

※未就学児のご入場はご遠慮ください。

東京芸術劇場内の託児施設をご利用ください。

だっころーむ (TEL 03-3981-7003)

※遅れてご来場になるとご入場をお待ちいただくことがあります。



## 20世紀が生んだ合唱音楽の世界遺産

ドイツの作曲家オルフが出世作『カルミナ・ブラーナ』を作曲したのは1936年のことですが、ドイツではその3年前にヒトラー政権が誕生し、38年にはオーストリアを併合、翌年の第二次世界大戦開戦へ向かって大きな渦に巻き込まれていったときです。経済的には世界恐慌の深刻な影響からようやく立ち直ったところでしたが、このあとひたすら軍備拡張路線へと突き進みます。一方ソビエト連邦が生んだ最初の音楽的天才と賞されたショスタコーヴィチが『森の歌』を作曲したのは第二次世界大戦も終わった1949年、荒廃した祖国の大地を復興するためにスターリンが進めた植林計画を賛美する内容となっています。しかし戦勝国ソビエトのこのときの実状は明るい希望とは程遠く、スターリンの独裁体制のもと東西冷戦がはじまる一方で、1946年から続いた大飢饉による犠牲者は100万人以上とされています。しかしこうした作曲されたときの環境にもかかわらず、『カルミナ・ブラーナ』と『森の歌』に共通するのはその音楽が発するエネルギーの

強烈さでしょう。『カルミナ・ブラーナ』では繰り返されるリズムと言葉から生まれる生物としての人間の根源的な力が湧き出ている、それまでのヨーロッパのいわゆるクラシック音楽にはなかった全く新しい表現が生まれています。また『森の歌』では表面上は時の政権が進める政策を賛美しながらも、若干19歳で最初の交響曲によって世界を感嘆させたショスタコーヴィチの天才は、そうした権力者の意図を超えて、抑圧された時代を生きる勇気をわき起こす源を曲に吹き込んでいるのです。ソビエトという閉塞社会で生きた聴衆もそうした作曲家の二重の意図を理解していたに違いありません。20世紀前半のドイツとソビエト連邦で全体主義が国を覆っていた時代に作曲されたこれら2曲の傑作は、20世紀を象徴する一時代が生んだ曲として、次代へと継承してゆく意味のある合唱音楽における世界遺産と呼ぶべきものでしょう。

認定NPO法人おんがくの共同作業場理事  
岡田利英

### ■ 指揮

#### トーマス・ザンデルリンク

レニングラード音楽院で学び、パリ国立高等音楽・舞踊学校に一年間留学した後、ベルリン音楽大学で学んだ。その後ライヘンバッハ交響楽団首席指揮者、ハレ州立歌劇場音楽監督を歴任。以降は東ドイツのみならず世界の主要なオーケストラに招かれて指揮するようになった。ショスタコーヴィチ本人から交響曲第13番と交響曲第14番のドイツ初演を委託され、更に最後のオーケストラ作品である「ミケランジェロの詩による組曲」を世界初録音した。1992年から2000年までは大阪シンフォニカー交響楽団の音楽監督・常任指揮者を務め、現在は桂冠音楽監督・首席指揮者に任ぜられている。2014年からは東京佼成ウインドオーケストラの首席客演指揮者に就任した。

### ■ 管弦楽

#### 新交響楽団

1956年に創立されたアマチュアオーケストラ。音楽監督・故芥川也寸志の指導のもとで旧ソ連演奏旅行、ストラヴィンスキー・バレエ三部作一挙上演、10年におよぶ日本の交響作品展(1976年にサントリー音楽賞を受賞)、ショスタコーヴィチ交響曲第4番日本初演など意欲的な活動を行ってきた。近年はロシア極東交響楽団芸術監督ヴィクトル・ティーツと共演など、海外の芸術家との交流にも取り組んでいる。

### ■ ソプラノ

#### 中江早希

東京藝術大学大学院博士後期課程に在籍中。日本モーツァルト音楽コンクール声楽部門第2位。日本音楽コンクールオペラ部門入選。ジュリアード音楽院コンクール第1位など入賞多数。

### ■ テノール

#### 大澤一彰

東京藝術大学卒業。日伊声楽コンクール第1位、ルーマニア国際音楽コンクール声楽部門第1位、及び全部門より最優秀賞。多くのオペラに出演し、常にプリモテノールを務めている。

### ■ バリトン

#### 萩原潤

東京藝術大学、同大学院オペラ研究科修了。ベルリンへ留学。ドイツのみならずヨーロッパ各地で演奏活動。二期会や新国立歌劇場などオペラに多く出演の他、コンサートでも活躍している。

### ■ バス

#### 岸本力

東京藝術大学、同大学院修了。日本音楽コンクール第1位、海外派遣コンクール特別賞。チャイコフスキー国際コンクール最優秀歌唱賞(日本男声で初)他受賞多数。「ショスタコーヴィチ歌曲の夕べ」で、文化庁芸術祭優秀賞受賞。ロシア大統領メドベージェフより日本人歌手の初の「プーシキン・メダル」(ロシア文化勲章)を授与された。

### オーケストラと歌おう♪ - 合唱参加者募集 -

音楽復興支援コンサート2017 2017年5月5日(金・祝) 13:30 開演予定 杉並公会堂

- "つぶてソング".....指揮:新実徳英
- 音楽とナレーションでつづる...指揮:郡司博/ナレーション:渡部智也  
"マタイ受難曲" 独唱:山田英津子、谷地敏晶子、松原陸、清水勇磨  
管弦楽:OSJアンサンブル/ピアノ:吉永哲道

※詳細はお問い合わせください。  
おんがくの共同作業場  
(<http://gmaweb.net/np0/>)